



**2021年3月期**

# **決算説明資料**

2021年5月13日

**TOWA株式会社**

## 主な説明内容

1. 2021年3月期 実績
2. 2022年3月期 予想
3. TOPICS

## 主な説明内容

- 1. 2021年3月期 実績**
2. 2022年3月期 予想
3. TOPICS

## 2021年3月期 サマリー

過去最高

通期受注高

409億円

連結営業利益

4.5倍

- ▶ **中国地域・台湾地域で受注が伸び、通期の受注高が400億円を超える。**  
半導体内製化を推し進める中国地域での活発な設備投資や、台湾での5G関連製品向け設備投資の増加などにより、受注高が過去最高の409億円となる。
- ▶ **収益性が大きく回復し、営業利益は前年比4.5倍の36.1億円となる。**  
メモリや5G関連など付加価値の高い製品向けの売上が増加。また、生産方式の見直しによる在庫の削減にともない評価減が減少し、収益性が大きく改善。
- ▶ **複数の指標が過去最高を更新。**  
通期受注高、コンプレッション受注・売上高が過去最高を更新。2022/3月期は売上高、営業利益、経常利益でも過去最高を見込む。

こちらのスライドは、2021年3月期決算のサマリーです。

中国での半導体内製化の加速やスマホメーカー各社の増産と、台湾での5G関連製品向け設備投資の増加などにより中国・台湾地域の受注が大幅に増加し、通期受注高は過去最高の409億円となりました。

メモリや5G関連など付加価値の高い製品向けの売上が増加したこと、また、生産方式の見直しによる棚卸資産の圧縮などにより、会計上の評価損が減少しました。  
その結果、収益性が大きく改善し、営業利益は前年比4.5倍の36.1億円となりました。

2021年3月期は通期受注高やコンプレッション装置・金型の受注・売上高が過去最高を更新しました。  
2022年3月期は売上高、営業利益、経常利益でも過去最高を見込んでおります。

## 2021年3月期 連結業績結果（前年比）

（単位：億円）

	2020/3期 実績	修正予想 (2021年2月5日公表)	2021/3期 実績	前年比
売上高	252.5	290.0	297.0	+ 17.6%
営業利益 (営業利益率)	8.1 (3.2%)	33.0 (11.4%)	36.1 (12.2%)	4.5倍 (+9.0%)
経常利益	6.4	34.0	38.1	5.9倍
当期純利益	3.6	24.5	26.6	7.2倍

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

こちらは、通期の業績結果です。

売上高は、5G関連や中国での力強い需要を背景に増加しました。利益についても、メモリや5G関連など付加価値の高い製品向けの売上が増加したことや、生産方式の見直しにより評価損の発生が減少したことなどから収益性が改善し、各段階利益が大幅に増加いたしました。

詳細については、10ページの増減要因分析をご覧ください。

## 2021年3月期 セグメント別売上高 (前年比)

(単位：億円)

	2020/3期 実績	2021/3期 実績	増減額	前年比
売上高	252.5	297.0	+ 44.5	+ 17.6%
半導体事業	170.7	211.1	+ 40.4	+ 23.7%
化成品事業	16.1	18.1	+ 2.0	+ 11.9%
新事業	48.4	54.2	+ 5.8	+ 12.1%
レーザ事業	17.3	13.6	▲ 3.7	▲ 21.5%

こちらは、セグメント別の売上高です。

半導体事業の売上が前年比で23.7%増となりました。  
主に中国での半導体内製化の加速や5G関連製品の増加が大きく影響しました。

化成品事業については、体温計など医療機器向けの製品の売上が堅調に推移し、前年比11.9%増となりました。

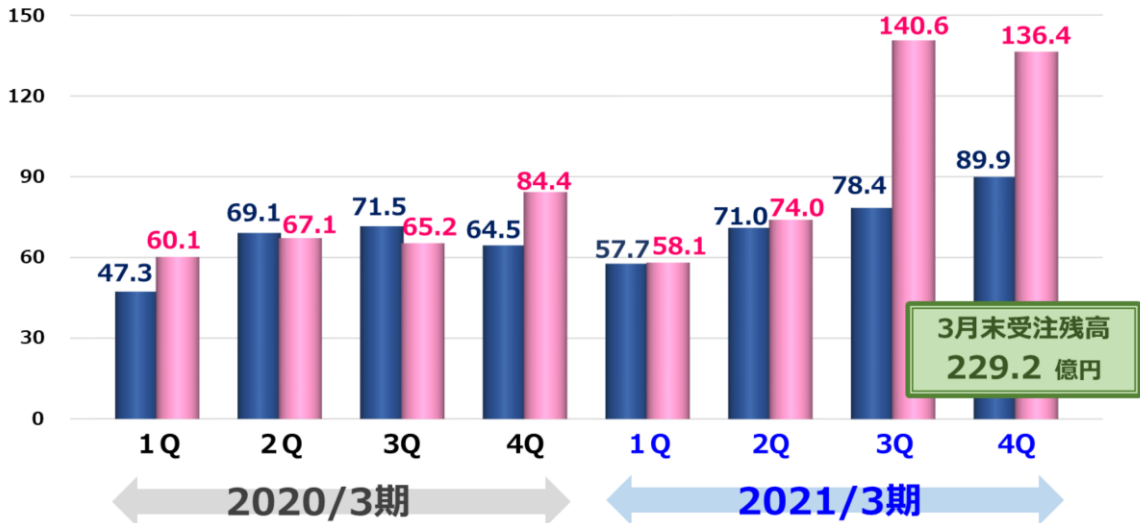
新事業については、前年比12.1%増となりました。  
半導体市場の活況を受け、部品販売やアフターサービス、改造修理などの案件が増加したためです。

なお、レーザ事業については、自動車や産業機械の需要回復による電子部品の需要増により、足元の受注・売上環境は回復傾向にあるものの、上期の受注・売上が低調であったことなどから、前年比21.5%減となりました。

## 受注・売上高の推移

(単位：億円)

■ 売上高 ■ 受注高



7

This material is the property of TOWA CORPORATION

TOWA

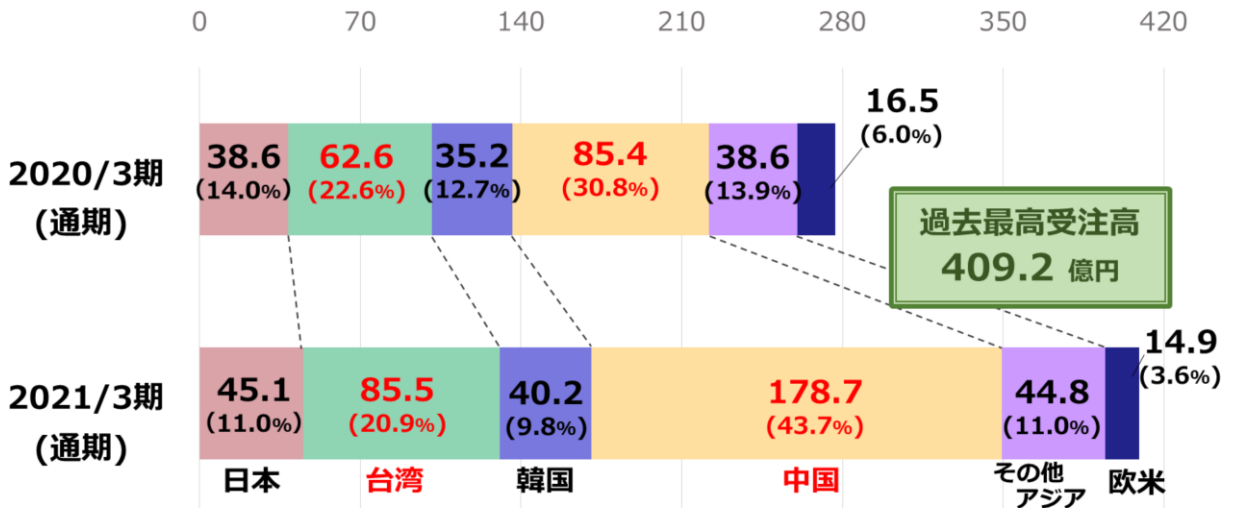
こちらは四半期ごとの受注・売上高の推移です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響懸念や、米中貿易戦争による先行き不透明感の高まりを背景に、第1四半期は台湾地域で受注・売上が減少しましたが、中国半導体内製化の加速や台湾での5G関連需要の拡大などを背景に、第2四半期から回復に転じ、第3四半期・第4四半期は急激に受注が伸びました。

売上につきましても、受注同様に今年度第2四半期から回復し、堅調に推移いたしました。

## 2021年 3月期 地域別受注高（仕向地ベース）

（単位：億円）



8

This material is the property of TOWA CORPORATION



こちらは地域別の受注高です。金額は仕向地ベースとなっております。例えば、韓国メーカーでも納入された地域が中国であれば、中国の受注高になっています。

台湾は5G関連製品や、サーバー向けメモリ投資などのハイエンドデバイス向けの需要増により、前年比で22.9億円増加しました。

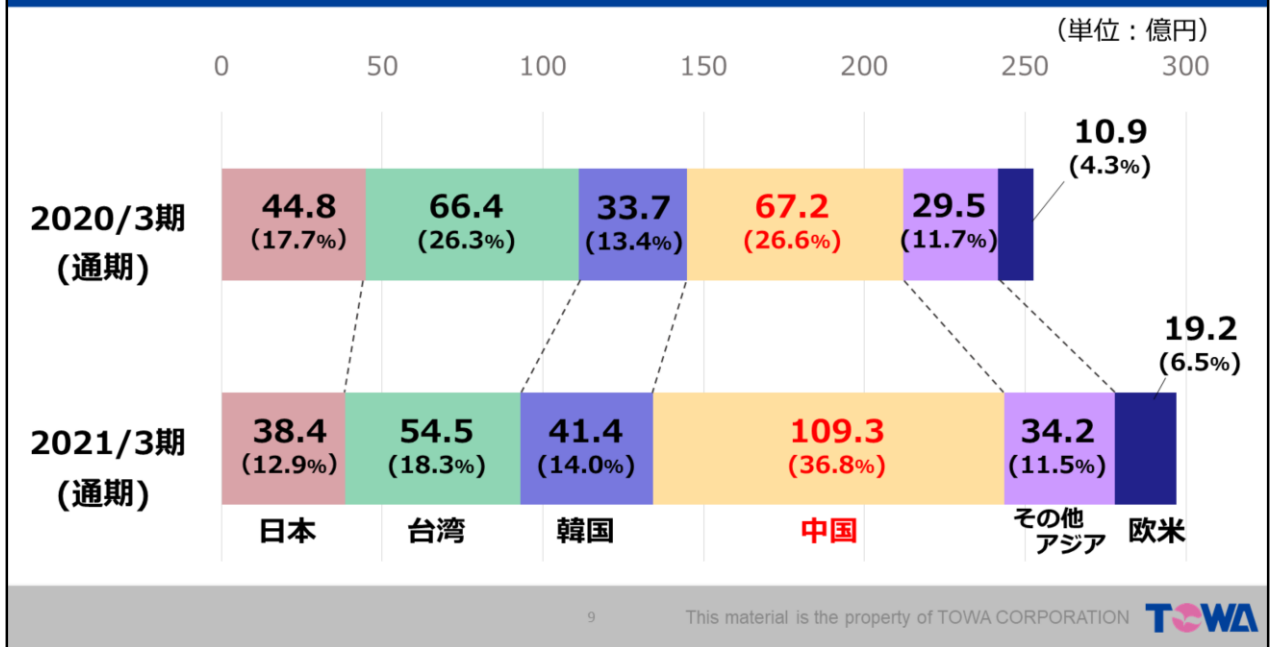
中国は半導体内製化の加速により大幅に受注が増加しました。

日本・その他アジアは車載向け半導体の需要増が牽引いたしました。

なお、詳細なデータを決算補足資料として当社Webサイトに掲載しておりますので、あわせてご参照ください。



## 2021年 3月期 地域別売上高（仕向地ベース）



こちらは地域別の売上高です。受注と同様に金額は仕向地ベースとなっております。

台湾は第2四半期以降、5G関連製品や、サーバー向けメモリ投資などのハイエンドデバイス向けの需要増により好調に推移いたしましたが、第1四半期の落ち込みにより前年比で11.9億円減少しました。

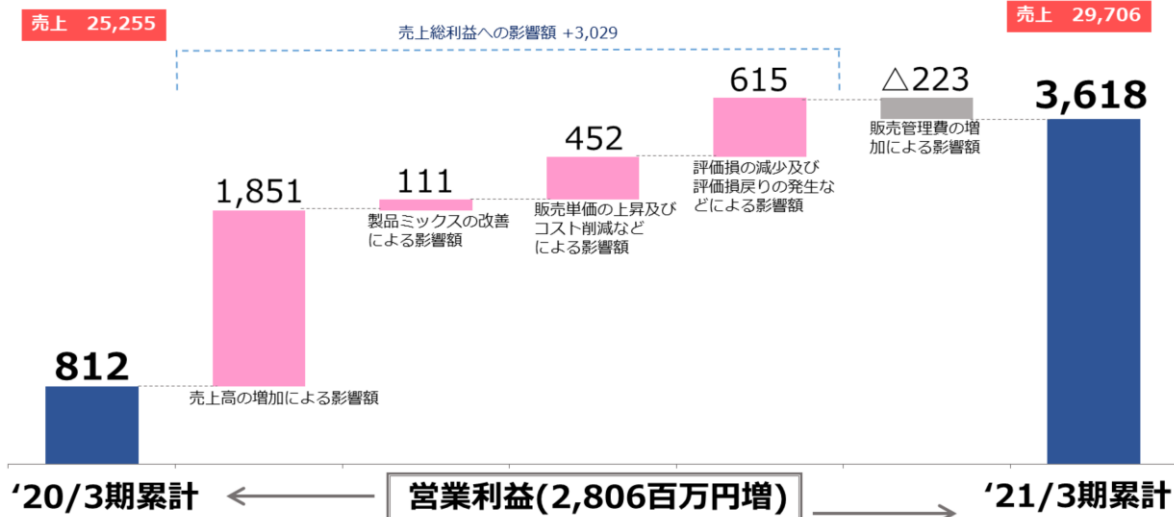
中国は受注同様、半導体内製化の加速により前年比で大幅に増加いたしました。

欧米の増加は、主に5Gスマートフォン向けの需要の増加によるものです。

なお、こちらも受注同様に、詳細なデータを決算補足資料として当社Webサイトに掲載しておりますので、あわせてご参照ください。

## 2021年3月期累計 連結営業利益 増減要因分析 (対前年同期比)

(単位：百万円)



CONFIDENTIAL

10

This material is the property of TOWA CORPORATION

TOWA

こちらは、前年度通期と今年度通期の営業利益増減要因分析です。

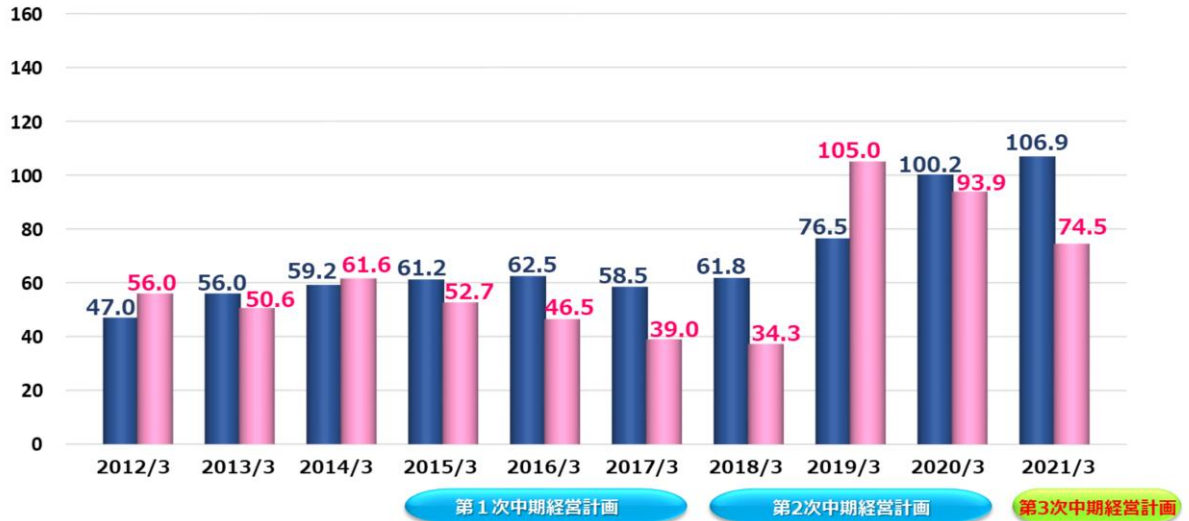
参考としてご覧ください。

# キャッシュ・フローの推移

■ 現預金残高

■ 借入金残高

(単位：億円)



こちらは、キャッシュ・フローの推移です。

マレーシアの新工場や中国南通の新工場など、積極的に設備投資を行いました。また、回収条件の見直し（前受金受領等）を促進したことなどにより、ネットキャッシュは32.4億円のプラスとなりました。

## 主な説明内容

1. 2021年3月期 実績
2. **2022年3月期 予想**
3. TOPICS

## 2022年3月期 通期 連結業績予想

(単位：億円)

	2021/3期 実績	2022/3期 予想	増減額	前年比
売上高	297.0	<small>過去最高</small> 380.0	+ 83.0	+ 27.9%
営業利益 (営業利益率)	36.1 (12.2%)	<small>過去最高</small> 50.0 (13.2%)	+ 13.9	+ 38.2% (+1.0%)
経常利益	38.1	<small>過去最高</small> 50.0	+ 11.9	+ 30.9%
当期純利益	26.6	35.0	+ 8.4	+ 31.4%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

ここからは、2022年3月期の通期業績予想についてです。

引き続き、半導体市場は活況が見込まれることから、来期は売上高380億円、営業利益50億円、経常利益50億円、当期純利益35億円を予想しており、売上高、営業利益、経常利益は過去最高となる見通しです。

## 2022年3月期 セグメント別売上予想

(単位：億円)

	2021/3期 実績	2022/3期 予想	増減額	前年比
売上高	297.0	380.0	+ 83.0	+ 27.9%
半導体事業	211.1	263.0	+ 51.9	+ 24.6%
化成品事業	18.1	18.5	+ 0.4	+ 2.2%
新事業	54.2	75.1	+ 20.9	+ 38.6%
レーザ事業	13.6	23.4	+ 9.8	+ 72.1%

こちらは、セグメント別の売上予想です。

半導体事業は好調な市場環境から、前年比24.6%増となる見込みです。

新事業は、改造・修理やパーツ販売などのトータル・ソリューション・サービス（TSS）が引き続き堅調に推移すること、また、自動車部品向けの受託加工や工具販売などの増加により、前年比38.6%増となる見込みです。

レーザ事業は自動車や産業機械の需要回復により、電子部品市場の回復を予想しており、前年比72.1%増となる見込みです。

# TOWA 10年ビジョン

## 第1次中期経営計画

- ・欧州・米国にラボ設置
- ・CPMシリーズ発表
- ・SEMES社より事業譲受
- ・新事業推進本部 設置
- ・蘇州・九州工場 増築

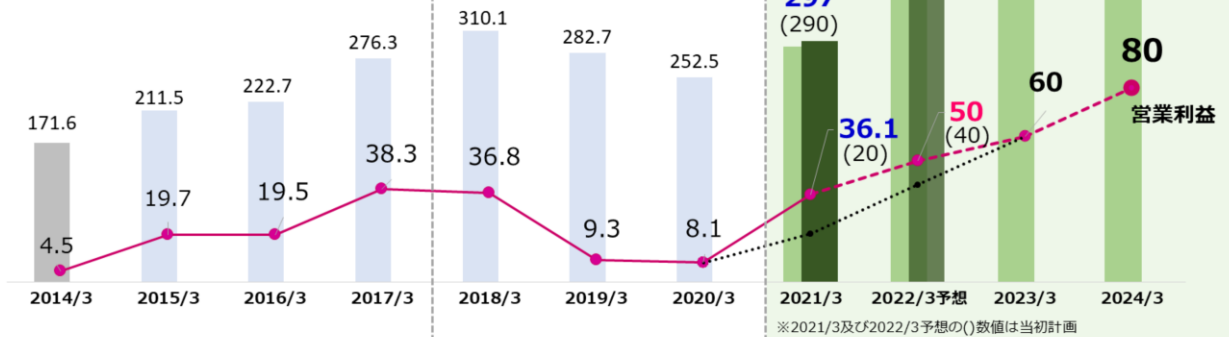
## 第2次中期経営計画

- ・TOWAM新工場完成
- ・レーザ加工事業譲受
- ・中国金型事業譲受

## 第3次中期経営計画

- ・東和南通新工場完成

(単位: 億円)



こちらは、TOWA 10年ビジョンの売上高と営業利益の推移です。

2021年3月期は売上高・営業利益ともに計画を達成することができました。  
2022年3月期も当初計画を上回る予想をしており、第3次中期経営計画の達成に向けて着実に進んでおります。

## 設備投資・配当予想

	2021/3期 実績	2022/3期 予想
設備投資	34.5億円	58.1億円
配当	16.0円	23.0円

こちらは、設備投資と配当予想です。

設備投資につきましては、新事業拡大に伴う京都東事業所の増築・機械設備費用が含まれております。

配当につきましては、安定配当の施策を基に、2022年3月期については、2021年3月期から7円増の23.0円を予定しております。

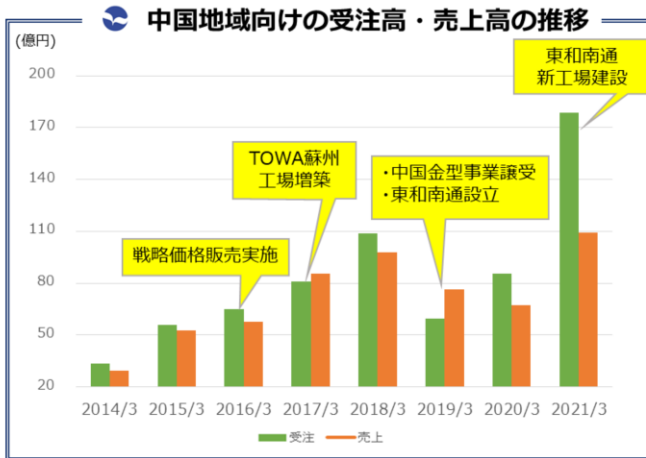


## 主な説明内容

1. 2021年3月期 実績
2. 2022年3月期 予想
3. TOPICS

## 中国地域向け受注・売上

### 半導体国産化を推し進める中国地域で受注・売上が大きく増加!!



#### <受注・売上増の背景（当社特有の理由）>

- 生産・設計～販売・アフターサービスを中国国内で完結できる充実した体制（需要を予想した先行投資の実施）
- 市場拡大前に戦略的な価格設定で現地OSATのシェアを獲得
- モールディング装置における世界シェアトップの確かな実績

ここからは、今期の当社の取り組みや最近のトピックスについてです。

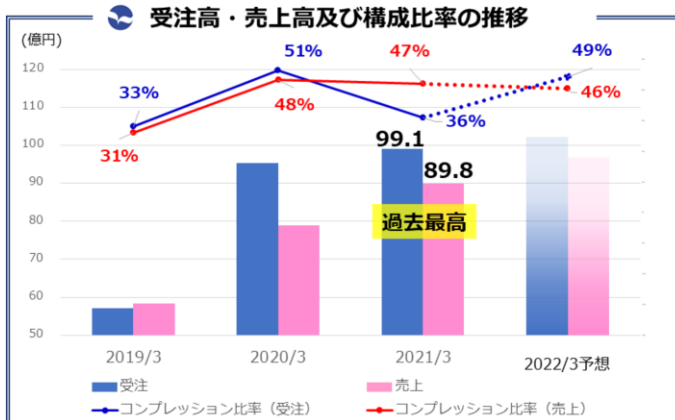
当社は過去から中国地域において、現地の子会社のみで生産・設計から販売、そしてアフターサービスを完結できる体制を整えるなど、積極的な展開を行ってまいりました。

その結果、現在の半導体国産化を推し進める中国地域のお客様のニーズを確実に捉え、2021年3月期の受注・売上が大幅に増加いたしました。

# TOWA独自のコンプレッション技術

**コンプレッション装置・金型受注・売上高が過去最高を更新!!**

TOWA独自技術のコンプレッション装置・金型がメモリや5G製品向けに伸長。  
受注高・売上高ともに過去最高となり、今後も高い水準を見込む。



## ● 実績

メモリや通信用デバイス向けに伸長。

<主な用途>

- ・ 5Gスマートフォン
- ・ サーバー
- ・ PC、タブレットなど

## ● 今後の見込み

半導体機能の高度化によりコンプレッション技術の優位性（低圧成形、低背化、モジュール対応可能など）がさらに高まる。メモリ中心であった用途が通信機器向けなどの他のデバイスへ拡大。

こちらは、TOWA独自のコンプレッション技術についてです。

テレワークや遠隔授業の拡大による、サーバー向けのフラッシュメモリ需要や5G関連の通信用デバイスの需要が増加しております。

近年の微細化、積層化が進んだフラッシュメモリは、モールドイング工程の難易度が高いことからTOWA独自のコンプレッション技術が最適です。

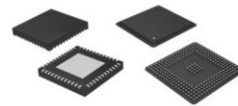
そのため、当社のコンプレッション装置の需要が増加しており、2021年3月期はコンプレッション装置・金型の受注・売上ともに過去最高となりました。

今後も半導体機能の高度化によりコンプレッション技術の優位性が高まる見込みで、フラッシュメモリ中心から、通信機器などのデバイスへも、その用途が拡大する見込みです。

# シンギュレーション装置

## シンギュレーション装置の受注・売上が大きく伸長!!

- 5G通信機器や家電用などの汎用品向けに受注・売上が拡大。
- 高品質なアフターサービス体制やモールドイング装置での技術力を高く評価いただき、新規顧客を獲得。



対象となるパッケージ例



シンギュレーション装置 (FMS3040)



増産対応中のTOWA蘇州工場

こちらはシンギュレーション装置についてです。

前期は5G通信機器や家電用などの汎用品向けにシンギュレーション装置の受注・売上が拡大しました。

当社の高品質なアフターサービス体制やモールドイング装置での技術力を高く評価いただいております。新規顧客の増加などから、今期も受注高・売上高が大きく伸長する見込みです。

## 生産体制の強化

### 生産キャパシティの最大化と市場の変化に柔軟に対応できる体制の構築

- 焼入れなどを含めた金型の一貫生産ラインを保有し、中国国内で金型と装置生産を完結できる体制を構築。
- 拡大する中国市場における生産キャパシティの増強  
(TOWA蘇州工場に加え、今期より東和南通新工場で装置生産を開始)
- MIPハイブリッド化により生産効率化と能力拡大を両立

#### MIPプロジェクト

(Minimal Inventory & Period)

- ▶ リードタイム短縮
- ▶ 在庫適正化 (生産方式見直し)
- ▶ 先行生産 ⇄ 受注後生産の切替



東和南通新工場  
(2021年2月完成)

こちらは、生産体制の強化についてです。

生産体制の強化により生産キャパシティの最大化と市場の変化に柔軟に対応できる体制の構築を進めています。

2021年2月、中国に東和南通新工場が完成いたしました。新たな工場は金型の一貫生産ラインを保有し、中国国内で金型と装置生産を完結できる体制を構築できました。

今期より中国市場での生産キャパシティを増強するため、TOWA蘇州工場の他に、主に金型を生産する東和南通新工場でも装置生産を開始予定です。

また、MIPプロジェクトの推進により、リードタイムの短縮と在庫の適正化が進んでおります。

先行生産と受注後生産の切替により生産効率化と能力拡大を両立し、市場ニーズに対応していきます。

# 新事業の取り組み

## 新規事業（レーザ事業含む）

### 新規事業の売上高推移



### 工具生産用工場

工具需要の増加を見込み、京都東事業所の増築を計画中。

ソーラーパネルや省エネ設備の導入などにより、**工場で使用する電力を再生可能エネルギーで賄う。**



増築予定の京都東事業所イメージ図

こちらは新事業についての取組みです。

前期は自動車、産業機械需要の落ち込みにより受託加工やレーザ事業が低迷しましたが、コロナ禍でも半導体市場の活況によりトータル・ソリューション・サービス（TSS）は堅調に推移いたしました。

今期は市場環境が改善し、電子部品市場の回復と自動車向け受託加工が回復する見込みです。また、納入装置増加にともなうアフターサービス増などによるTSSの増加も見込みます。

また、工具の需要増加を見込み、京都東事業所の増築を計画中です。増築する工場はソーラーパネルや省エネ設備の導入などにより、使用する電力を再生可能エネルギーで賄う見込みで、CO2削減にも貢献いたします。

# ESGの取り組み①

## SDGsへの取り組み

特に事業との関連性が高い以下の項目について、重点的に貢献してまいります。



## 脱炭素に向けた取り組みを加速

- グループ全体で脱炭素に向けた取り組みを加速するため、プロジェクトチーム（分科会）を発足。

<検討中の主な取り組み>

- ・ 工場の省エネルギー化（DX活用、再生可能エネルギーの利用など）
- ・ 製品の省エネルギー化
- ・ コンプレッション装置の拡販（用途・活用範囲の拡大）



## 環境負荷の少ない製品開発

当社は、1979年に樹脂の使用効率を高めるマルチプランジャー方式を開発し、樹脂の廃棄量を大幅に削減したほか、樹脂効率100%（廃棄量ゼロ）を達成する独自のコンプレッション方式を開発するなど、創業時から環境への負荷が少ない製品開発を行っております。また、デジタル化、デジタルトランスフォーメーション（DX）を支えるデータセンター、情報通信インフラの整備に伴う半導体への拡販を通じ、脱炭素に貢献します。



PMC2030

## TOWA韓国が企業人大賞を受賞

2020年10月29日、TOWA韓国は「第27回忠清南道企業人大賞」において、経営大賞を受賞しました。忠清南道企業人大賞は、企業の堅実度、経営能力、技術能力および雇用創出の成果、輸出活動、地域社会への貢献など各分野において、優れた成果を見せ、**地域経済の発展と活性化に貢献した優秀企業に贈られる賞**です。今後も地域社会に寄与し、共存できるように励んでまいります。



<ご参考> 【TOWAとSDGs】 <https://www.towajapan.co.jp/jp/company/sdgs/>

当社は中長期的な企業の発展には、売上や利益の目標達成だけでなく、企業価値の向上が不可欠であると認識しており、SDGsの達成に向け積極的に取り組んでいます。

当社に関わるすべての人々の健康と安心、そして地球環境への配慮を怠ることなく、技術革新を世に送り出し、ものづくり企業として社会と企業がともに成長できる高い付加価値を生み出していくことを目指します。

2022年3月期は新たにプロジェクトチームを発足させ、脱炭素に向けた取り組みを加速させます。

なお、当社の主な取り組みなどにつきましては、スライド下部に記載のリンク先をご参照ください。

## ESGの取り組み②

### コーポレート・ガバナンスの強化

- ・ 社外取締役を1名増員し監査体制と社外役員比率を向上
- ・ 女性取締役の就任により取締役会の多様性を確保

社外取締役比率  
37.5%

女性役員  
1名

指名・報酬委員会の設置 (2021年4月1日より設置)

委員会の構成  
過半数が社外

議長  
社外取締役が議長

政策保有株式の売却 (2021年3月期は4銘柄の売却を実施)

売却銘柄数  
4銘柄を売却

純資産に占める比率  
12.1%

当社は中長期的な企業の発展には、売上や利益の目標達成だけでなく、企業価値の向上が不可欠であると認識しており、コーポレート・ガバナンスの強化についても積極的に取り組んでいます。

監査体制の強化・充実と取締役会の多様性を確保するため、2020年6月定時株主総会において、女性の社外取締役を1名増員し、取締役会における社外取締役の比率は3分の1以上（37.5%）となっております。

また、取締役人事および報酬制度における審議プロセスの公正性、透明性および客観性を高めるため2021年4月1日より指名・報酬委員会を設置いたしました。

政策保有株式の売却については2021年3月期は4銘柄を売却いたしました。今後も政策保有株式の縮減に取り組んでまいります。



# 世界のモールドプロセスをTOWAに!!



TOWA 10年ビジョン

ものづくり企業の真価に挑む

《本資料に関するお問合せ》TOWA株式会社 企画部

〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 Tel : 075-692-0251

本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承願います。